とうきょう すくわくプログラム活動報告書
2025年度　ウィズブック保育園大森海岸

所在地：品川区

1. 活動のテーマ、環境設定

テーマ：表現（ことば）
環境設定：外国人講師（トリーシャ先生）

2. 活動スケジュール

令和7年12月～令和8年3月
1歳児：6名
2歳児：6名

3. 探究活動の内容

・外国人講師の日々の英語のレッスンの中で、英語という異文化の言葉に触れる、表現することを楽しむ
・日中の活動の中で、色の名前や物の名前等を、英語ではどのように話すかを知る
・異文化の言葉でのやりとりに興味を持つ。

4. 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

・外国人講師が話す言葉に興味を持ち、指差しや身振りで答え、楽しそうに参加している。講師の先生が英語で話す言葉を真似たり、動きを真似するこの姿が多く見られた。
・「どんな色が好きですか？」と問いかけると、「あか、あお」と色の名前を答えてくれた子どもたち。そこで、様々な色のボールを見せると、「きいろ、むらさき」と色を言い当てていました。「この色は、英語でなんていうか知っていますか？」と問いかけると、「れっど！ぶるー！」と聞いた音を真似、英語と日本語を交互に話す子の姿が見られました。
・「英語でのあいさつは、どんな言葉がありますか？」と問いかけると、考えていた子どもたち。中には、英語でのレッスンの様子を思い出し、「はろー」を手を振って答えてくれる子の姿が見られました。みんなでハローと手を振り、異文化での挨拶に挑戦しました。他にはどんな挨拶があるかな？と英語でのおはよう、さようなら、おやすみなどの言葉に触れました。

5. 振り返り

普段から馴染みのある、色の名前や物の名前、挨拶などを活動に取り入れることで、子どもたちも興味・関心を持ち参加していた。その関心が活動への意欲を大きく引き出していました。英語のレッスンでは、ネイティブの英語の発音に触れることで、聞いた言葉をネイティブな発音で話す子の姿が見られ、驚きました。
今回の活動を通して、子どもたちの気づきや発見から広がる遊びには、探求心や表現の豊かさが自然に育むことができるなと改めて感じました。これからも子どもたちのワクワクを大切にしながら、一緒に遊びを深めていけるように努めていきたいです。